

## イタリア語イタリア文学研究室によるこそ！



土肥秀行（主任、教授、写真左端）

ロレンツオ・アマート（准教授、左から3人目）

在籍者 教員 教授1 ネイティブ准教授1 助教1 PD1

非常勤講師4 学生 学部2 修士2 博士3

（院生のうちSpring GX生1 学振DC1卓越1）

1

さまざまなイベント、最新の情報は  
フェイスブックのページへ

<https://www.facebook.com/ItalianisticaTokyo>



なんでも問い合わせはこちら

[l\\_sel@l.u-tokyo.ac.jp](mailto:l_sel@l.u-tokyo.ac.jp)

（研究室・授業見学や個別の進学相談を随時受付中）

2

### どんな研究室？

- 2025/4/1 「イタリア語イタリア文学」研究室に改称しました。もともと「イタリア語イタリア文学研究室」と名乗っていました（1979~1993）。
- 実際、常にイタリア文学のみを扱ってきました。
- イタリア文学を専門的に学べるのは、本学と京都大学（軍事同盟締結時1940年設立）のみです。
- イタリア語の原著に関しては、日本一の蔵書数。
- 駒場キャンパスで1,2年のときに、第二外国語イタリア語クラスでイタリア語を学んでから進学するパターンが多いです。イタリア語選択でなくともかまいません。
- 社会経験を経て、「学士入学」によって3年生次に編入してくる人もおり、所属学生の年代は多様です。

3

### こんな授業があります

3年生、4年生、修士課程（2年）、博士課程（3年）

講読・輪読（通史的に学べる！）

13世紀 滑稽詩、ダンテの抒情詩

14世紀 ポッカッショ散文

15世紀 カンパネッラの詩（大学院）

ルネサンス的人文主義者アルベルティによる論文

16世紀 詩形マドリガーレ～歌曲

17世紀 マリーノ派～バロック詩（大学院）

18世紀 ゴルドーニ喜劇、フォスコロ書簡小説

19世紀 レオパルディのロマン派詩、ヴェルガライタリアのリアリズム文学短篇

20世紀 前衛詩、現代的小説（カルヴィーノ、パゾリーニ）

これとは別に

・講義形式「イタリア語・イタリア文学史」（13~18世紀）

「イタリア文学史」（19, 20世紀）

・ネイティブ教員とのイタリア語会話練習

4

卒業論文・例

- 『アントニオ・タブッキ“遠い水平線”におけるメランコリーの様態』（2022年度、修士に進学）**20世紀**  
・ジャンバッティスタ・マリーノの恋愛詩（2023年度）**17世紀**  
・ルイジ・プルチ『大モルガンテ』のレトリック、モチーフ（貴婦人、幻獣）（2023年度）**15世紀**  
・ロッシーニのオペラ台本研究（2024年度）**18,19世紀**

修士論文・例

- 『ダンテ『神曲』における宗教的「保守性」の検証』（2023年度）**14世紀**  
『聴取する抒情——モンターレ第四詩集『サートゥラSatura』における時間と信をめぐって』（2024年度）**20世紀**  
(研究科長賞受賞)

博士論文・例

- 『ジャコモ・レオパルディ研究：自然観と「無限」の詩学』（2014年度、2022年に書籍化）**19世紀**  
『ゴルドーニの演劇改革～同時代人の批評を通して～』（2004年度、2022年に書籍化）**18世紀**

5

学部から大学院まで

所属学生で行った合同発表会での発表タイトル



イタリア語イタリア文学研究室 Italianistica

合同研究発表会 2025 夏

- 11:30-12:15 01 本吉 葉(4年生)  
ジョルジョ・マンガネッリの生涯と著作群—特にその評論に着目して  
12:15-13:00 02 岡村千絵 M1  
ファシズム期の作曲家、オットリーノ・レスピーギ(1876-1936)  
13:00-13:45 03 伊藤 渉 M2  
*L'Adone*の相補性 -V-VIIIにおけるモチーフの場合  
13:45-14:30 04 Tristan Chiffolleau  
*Identità in movimento: il cinema come lente sulle migrazioni italiane e giapponesi in Brasile*  
14:30-15:15 05 池田知穂 D1  
抒情詩の「聴取的主体 soggetto ascoltante」に関する前提的考察  
15:15-16:00 06 渡辺元裕 D2  
写本挿絵との関係から考える、  
ダンテのホーリンシュタウフェン家描写とその解釈  
16:00-16:45 角田かるあ PD フォトディナミズモの理論と実践 :A・G・  
プラガーリア『未来主義フォトディナミズモ』の総合的研究と作品総目録  
(博士論文についての報告)  
16:45-17:45 土肥薫氏 満演



6

研究室主催イベント（最近のものから）

- ① ダンテ『神曲』の図像学についての国際シンポジウム（イタリアとアメリカの研究者も発表）  
② 和田忠彦氏講演会「いまなぜカルヴィーノか」  
③ 高田和文氏訳、ダリオ・フォー『喜劇集』講演会（1997年ノーベル文学賞）  
④ バルバラ・メアツツィ氏（コート・ダジュール大学）講演会「未来派と第一次世界大戦」  
⑤ ジョルジョ・ビアンコロッソ氏（香港大学）講演会「パゾリーニ映画における音楽」  
⑥ スティリオス・フルムジャディス（ギリシャ大使館）「ギリシャにおけるボッカッチョのデカメロン」  
田中真美（京都大学）「日本におけるボッカッチョ」  
⑦ 国際シンポジウム「ローマから東京へ—“廃墟”論の東西」（美学、美術史、イタリア文学、日本学）

7

多くの研究者が短期滞在し、学生のためにセミナーをひらきます。最近の例

2024/5 マッテオ・カザーリ  
(ボローニャ大学准教授)



2025/5 ヤコボ・ペザレージ  
(ボローニャ大学研究生)

2025/6-7 トンマーゾ・ペーペ (上写真)  
(北京 対外経済貿易大学准教授)

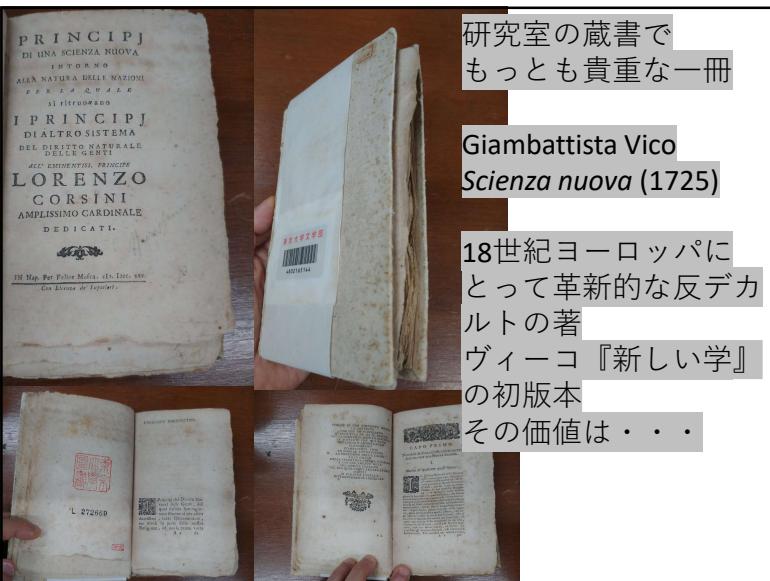
8



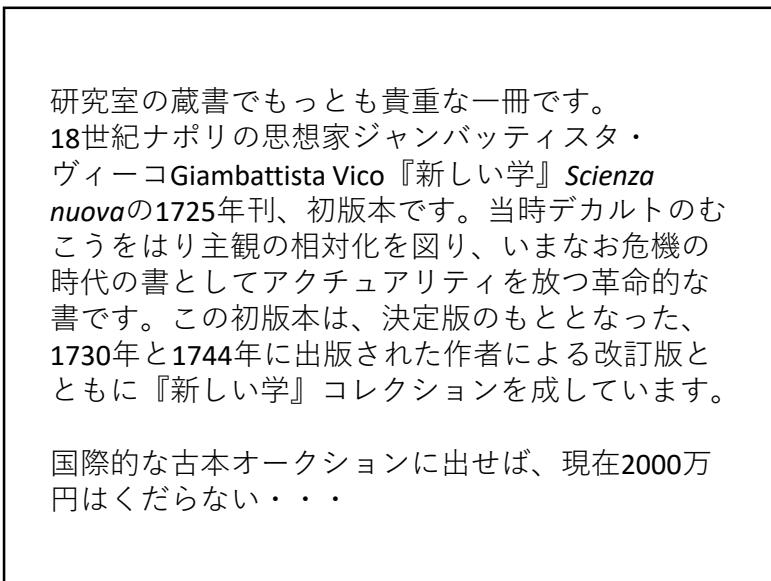
9



10



11



12

どんな研究がなされているか具体的にわかる  
研究室が出している論文集（年刊）  
所属する教員と大学院生が書いています。  
『イタリア語イタリア文学』第9号（2024/03）  
[https://researchmap.jp/read0146667/published\\_papers/45895703/attachment\\_file.pdf](https://researchmap.jp/read0146667/published_papers/45895703/attachment_file.pdf)

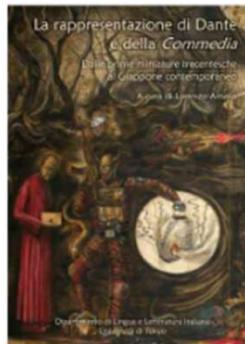


13

- 『イタリア語イタリア文学』第9号（2024/03）【目次】
1. Lorenzo Amato, *Le Pietre di Antonio Buonaguidi. Edizione critica e commento* 13
  2. 渡辺元裕、清貧及びコンスタンティヌス帝の寄進を巡るダンテの思想 45
  3. 横田太郎、レオン・バッティスタ・アルベルティ『家族論』と文人の公益性—誰に向けて書くのか 69
  4. 土屋美子、ポリツィアーノ『スタンツェ』におけるエクフラシスの受容 89
  5. 上西明子、メタスターの台本改革前夜—先駆者たちの悲劇の試み 119
  6. 倉重克明、ジョヴァンニ・ヴェルガ創作晚期の物語言説をめぐって 141
  7. 長野徹、児童文学におけるヴェリズモ—G.E.ヌッチョ『コンカドーロ物語』をめぐって 171
  8. 土肥秀行、未来派の女性論を読む 191
  9. 山崎彩、迷宮の構築—クラウディオ・マグリスの小説における複雑な語りの形態について 211
  10. 池田知徳、時の転倒—タブッキ『黒い天使』をめぐって 233

14

最新 ダンテ特集号  
(図版多数)  
『イタリア語イタリア文学』第10号（2025/09）  
[https://researchmap.jp/read0146667/misc/50821324/attachment\\_file.pdf](https://researchmap.jp/read0146667/misc/50821324/attachment_file.pdf)



15

Lorenzo Amato (a cura di), *La rappresentazione di Dante e della Commedia: dalle prime miniature trecentesche al Giappone contemporaneo*,  
«Lingua e Letteratura Italiana», Bollettino del Dipartimento di Lingua e Letteratura Italiana, Università di Tokyo, X (2025),  
Tokyo, Sōbun-sha.

ロレンツォ・アマート編特集「ダンテ『神曲』を描く—14世紀の初期細密画から現代日本まで」、『イタリア語イタリア文学』第10号（2025）（東京、双文社）

Sommario 目次

1. Lorenzo Amato, Prefazione 序
2. ロレンツォ・アマート「ダンテ『神曲』を描く—14世紀の初期細密画から現代日本まで」
3. Elisabetta Tonello, *Una nuova edizione critica della Commedia di Dante*
4. Ciro Perna, *La nascita dell'iconografia dantesca tra narrazione e interpretazione (in due codici miniati)*

16

5. Tanaka Mami, *Appunti su tre edizioni illustrate di Dante conservate nel fondo Kyōkō dell'Università di Kyoto*
6. Watanabe Motohiro, *La Ricezione di Dante nella letteratura popolare giapponese del secondo dopoguerra*
7. Lorenzo Amato, *Dalle cronache del Male alle action-figure del Vero: gli inferni ibridi e ambigui di Chiba Kazumasa*
8. アリエル・サイベル「《夜、灯火を背後に掲げて進む》一困難な時代をダンテとともに歩む3人のアーティスト」

ほぼ伊語論文がならんでいますが、日本語論文もあり、また日英伊の要旨がついています。図版ページが充実しているので、オンラインでみてみてください。

17

最後に  
なにかしらおもしろいものがみつかる  
イタリア文学。進学の際にかならずし  
もイタリア語ができなくてもかまいま  
せん。好奇心さえもっていてくれれば。  
教員も学生も数名ずつと少ないけれど、  
よい「質」でよい空気の研究室をつね  
にめざしています。  
いちど見学しにきてください。  
文学部3号館の8階でまっています。  
[l\\_sel@l.u-tokyo.ac.jp](mailto:l_sel@l.u-tokyo.ac.jp)

18